

# 森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

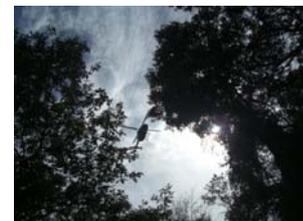
－ 119 番通報プレート －

Vol.7



## 六甲山から森の世話人がヘリコプターで搬送！

先日、森づくり活動中に急病人が発生し、救急ヘリコプターを要請後、搬送されるという事態が発生しました！参加者全員の冷静沈着・臨機応変な対応、救急隊員や病院スタッフの適切な対処のおかげで、急病人の方は大事に至らず、その後、元気に回復されていますが、そんな時、皆様ならどうされますか？ 何が一番大変だったと思われますか？



上空の命の恩人

お話をうかがうと「まわりのみんなが、急病人の様態を気遣いながら落ち着いて行動することは大事ですが、救急ヘリコプター要請の際に、場所を正確に説明・伝えること。これが非常に難しく大変だった！」と言われていました。

そこで、お知らせするのは「119 番通報プレート」です。



救急ヘリコプター



## 六甲山には 119 番通報プレートが設置されています

活動地に行かれる時に、写真のような「黄色いプレート」をご覧になったことはありませんか？これは「119 番通報プレート」です。上の記事のように山の中では場所を伝えるのが難しく、消防隊等の到着が遅れる場合があります。「119 番通報プレート」は市内に 806 個が設置されています。プレートには「ひ 43-2」など記号が記載されていますので、その番号を通報時に伝えると場所をすぐに特定できるようになっています。



119 番通報プレート

### 救助を待つときの注意点

- (1) 危険がない限り、通報した場所から動かないこと。
- (2) 携帯電話の電源は切らないこと。  
(山間では電波が届きにくく、電池の消耗が早いため、電池式充電器を持参する)
- (3) ヘリや救助隊が近づいたら手を振るなど合図して場所を知らせること。  
(上着を使って合図すると効果的です)



※皆様の近くの活動地のプレート番号は、別途事務局から連絡します。



## コウモリガ被害について

昨年の森づくり講習会で周知いたしました「コウモリガ」被害のお知らせです。  
事務局では渦が森見本林で確認していましたが、住吉川周辺（兵庫県勤労者山岳連盟さんの活動地内）でも被害報告がありました。発見された際は下記の防除法を参考にしてください。

- ・コウモリガは蛾の仲間で、成虫は 9-10 月に出現し夕暮れ時に飛び、飛びながら卵を地表へばらまき、翌春に孵化します。（1～2 年で羽化します）
- ・孵化した幼虫は地面に接した草や枯葉を摂食し、成長にともなって木の幹や枝に穿孔して入り込み、根際付近の幹に大きな穴を開け、木を枯らします。
- ・排泄物を外に出す際に糸でつづって大きな糞塊を形成するのが特徴です。
- ・被害の多い木は、渦が森ではアバマキやコナラ/十文字山付近ではコナラやエゴノキです。



幹の根際付近に見られた糞塊



幹に大きな穴を開けられた木

### **防 除 法**

- ・幹や枝の穿入口から針金を入れるなどして幼虫を刺殺する。
- ・糞塊をとり除き、穿入口に揮発性の殺虫剤を注入する。
- ・苗木周辺の雑草を刈り取り、幼虫を苗木に近づけない。

※対処にお困りの際は、事務局までお知らせください。

\*\*\*\*\*



## 「森の世話人」の登録状況

### **活動を始めた団体**

- 三菱 UFJ 信託銀行 神戸支店（ピ-ター-ビ-ットの森）  
CSR 活動として森づくりに取り組まれます。
- 特定非営利活動法人アスロン（アスロン六甲の森）  
阪神間で活動する地域総合ユニースクラブです。

### **活動を取りやめた団体**

- 日本ボーイスカウト兵庫連盟 阪神さくら地区
- トヨタ部品兵庫共販株式会社
- こども環境フォーラム

## **送電線の下で**

100万ドルの夜景を影で支える関西電力の送電線が六甲山の各地を走っています。

この送電線は基礎インフラとして大事なものであり、維持管理作業や送電線下の樹木の伐採が行われます。

一部の団体さんには植樹する際に、送電線の下は高木を植樹できないと伝えております。これは、経済産業省令「電気設備に関する技術基準」で送電線と立木との間に所定の離隔距離を保つことが求められているためです。

また、皆様の活動地内で工事が行われる場合もあり、一部活動に制約が生じる場合があります。

あわせて、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

本ニュースレターに関する問合せ先：

森の世話人活動支援事務局（株式会社総合環境計画内） 担当：赤井・井上  
TEL：06-4390-5104 E-mail：rokko\_gb@lion.ocn.ne.jp